

日本仏教社会福祉学会 ニュースレター No.19

■平成25年6月21日

■発行・編集 日本仏教社会福祉学会 事務局

CONTENTS

- ・平成25年度日本仏教社会福祉学会第1回理事・役員会報告
- ・日本仏教社会福祉学会 第48回大会・総会のご案内
- ・学会連合 総会報告
- ・平成25年度理事選出選挙のお知らせ
- ・会員の皆様へお知らせ
- ・事務局 編集後記

日本仏教社会福祉学会

発行日：平成25年6月21日

発行：日本仏教社会福祉学会事務局

〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨3-20-1

大正大学 社会福祉学科 事務室内

TEL：03-3918-7311 (代)

FAX：03-5394-3057

E-Mail:ohdai-sw@tais-shafuku.sakura.ne.jp

平成25年度日本仏教社会福祉学会 第1回理事・役員会報告

日時：平成25年4月20日（土）13半～16時
場所：大正大学 7号館7階

出席 代表理事 石川到覚
 個人理事 長谷川匡俊 佐賀枝夏文 村井龍治 山口幸照 宮城洋一郎
 団体理事 三友量順 多田孝文（代理 落合崇志 長上深雪 小島恵昭 金子保（代理 藤森雄介）
 監事 梅原基雄 池上要靖
 東日本大震災対応プロジェクト担当 藤森雄介
 事務局 鷺見宗信 菊池結 関根沙織
 欠席
 個人理事 清水海隆 田代俊孝 菊池正治 田宮仁
 団体理事 徳岡博巳 林俊光
 中垣昌美（名誉会員）
 刊行担当 清水教恵

開会 司会より開会を宣言。
代表理事挨拶

年度初めのご多忙の中、ご参集くださり、ありがとうございます。さて、ソーシャルワークの国際定義の見直し議論が進んでおりますが、その中でアジアの研究者から新しい提案が出ています。東アジアの多くの国々は、仏教が思想・価値・倫理の背景となっており、それらを踏まえた改訂論が出ています。グローバルかつローカルないしコミュニティ展開も含めて仏教が再度見直されています。その一方、3.11以降、特に仏教に熱い期待が寄せられている中、こうした社会的な要請に本学会が応えて行ければと願っております。何卒、よろしくお願いたします。

1. 事務局報告

本学会規定により出席理事11名、委任状1通の過半数で理事会は成立する。

2. 議事

本学会規定により石川代表理事が議長となり、次のように審議された。

第1号議案 会員の異動について

事務局報告により、次の①新入会員7名、②退会会員6名と1団体について、審査の結果、承認された。

①入会会員の承認（順不同）

個人会員入会 1. 太田俊明 2. 青木伸吾 3. 瀬尾俊治 4. 赤坂明翔
5. 勝崎裕彦 6. 木野美恵子 7. 平野仁美

②退会会員の承認（順不同）

個人会員退会 1. 福本幹雄 2. 木村宣彰 3. 黒川弘賢 4. 池田敬正
5. 阿部行照 6. 山本待弘
団体会員退会 四天王寺大学

したがって、平成25年4月20日現在、個人会員は219名、団体会員25団体会員、計244会員となった。

また、会費未納会員には、各理事から会費未納会員に再度の納入を依頼し、退会勧告は、本年度の第2回理事会で決定することとなった。

なお、団体理事の淑徳大学は、金子保理事の退職に伴い、藤森雄介理事に変更する旨の報告が了承された。

第2号議案 平成24年度決算および監査について

事務局より決算（案）の説明後、梅原基雄監事より監査の報告がなされた。

支出の部における、大会助成費について華頂大学・華頂短期大学よりの決算報告がまだ提出されていないため、早急に求めたい。年報刊行費の支出増は、投稿論文が多く龍谷大学での大会一部中止を受け、紙面シンポジウムとしたため、総ページ数が増え印刷費が増額となった理由が報告された。また、現在、抜き刷り等も会員負担として緊縮予算を心がけているが、今後、学会事務局と年報編集委員の役割分担を整理することが確認された。審議の結果、平成24年度決算について承認された。

第3号議案 理事選出選挙について

事務局の理事選挙規程の説明は、個人理事7名、団体理事3校を選挙で決めた後、その10名の理事により、地域性も考慮した8名の理事を推薦し、18名で理事会を構成する。また、選挙の流れは、6月に投票資料を発送、7月に開票して結果を理事会に報告し、次回の理事会において新旧理事の顔合わせ、総会において承認を受ける。さらに選挙管理委員会は、理事会指名の委員長と委員を決めたい。

山口理事

投票の開票を考えて在京の理事が望ましいので、藤森理事を委員長に推薦したい。

審議の後、理事会指名委員長に藤森理事とし、藤森委員長の推薦会員により選挙管理委員会を構成するよう承認された。

第4号議案 第48回大会について

大正大学で開催する第48回大会は、大会長の落合崇志会員より企画案が説明され、日程は8月31日及び9月1日の2日間。大会テーマは「災害支援と仏教社会福祉の課題」とし、震災関連のシンポジウムとする内容について審議の後、大会企画案が承認された。

第5号議案 アジア仏教社会福祉学術交流基金

研究・公開助成について

村井研究担当理事

淑徳大学大学院佐藤会員より申請があり、研究テーマは「ソーシャルワーク研究における仏教の役割に関する日本・ベトナムの比較研究」であるが、研究担当理事の清水理事と村井理事で審査を行い、本日の理事会前に改めて代表理事も入り、審査会を経て、申請を可とする結論が報告された。審議の結果、佐藤会員の研究助成申請が承認された。

3. 報告事項

①学会賞について

事務局より各理事に該当者がいる場合、事務局まで連絡するよう確認された。

②50周年記念事業について

村井研究担当理事より、中垣名誉会員への

聞き取りを実施しているが、時間も迫っているため、清水理事と相談しながら作業を進めたい。

③震災対応プロジェクトについて

東日本大震災対応プロジェクト担当の藤森理事より、平成24年度は日本社会福祉学会連合総会及び主催シンポジウムに出席し、第47回大会に続き、第48回大会においてもシンポジウムで報告する。また、全日本仏教会・仏教NGOネットワークと共同アンケート調査の進捗状況については、宗派別調査を平成24年9月に集計を終了して報告し、アンケート結果の一部を用いて配布複製の稲葉圭信・黒崎浩行編著『宗教とソーシャルキャピタル第4巻』

(2012 明石書店)中の第一章を執筆した。被災寺院別調査は、仏教NGOネットワークにて集計データ化が完了している。直接支援団体別調査は現在集計中である。その他として全日本仏教会理事会にオブザーバー出席し、調査結果を基に今後の展開に関してコメントし、全日本仏教会支援検討会議に「個人的な見解」の提案書を提出した。なお、財団法人仏教伝道協会助成金申請については、先に述べた3種類のアンケート結果公表について全日本仏教会から仏教伝道協会助成金を活用するの助言を受け、理事会の了承を得て申請したい。

議長

三団体で共同のアンケート調査を実施したが、研究成果及び情報開示について本学会の考えを決める必要があり、二団体は情報開示についてどのような考えか。

藤森理事

共同調査であっても、全日仏は寺院リストの提供のみで集計や開示は一任。仏教NGOネットワークは被災寺院のアンケートから防災マニュアルを作成するので、それ以外のデータは、本学会が自由に使用できる。しかし今一度、二団体に確認したい。

長谷川理事

議長の指摘は研究者の倫理に関わる重大な問題であるので、分担と責任と相互了解を文書で取り交わしたほうが良い。

議長

2点めの調査結果の報告について、公益性のある他の団体の助成を申請して良いか。

審議の結果、報告及び仏教伝道協会助成金申請について了承された。

④次号年報編集について

佐賀枝編集担当理事より現在編集委員は、藤森・小笠原・福島と佐賀枝の4名で構成している。分科会の司会が編集委員を兼務するので、第48回大会終了直後、編集委員と分科会の司会とで編集委員会を開催したい。年報44号は、第47回大会の震災シンポジウム報告を

中心に掲載するので、現在白峰社がテープ起こし作業中である。また、著作権ポリシーの問題について確認したい。現在ネットでの公開もあるが、本学会は年報印刷が白峰社、出版が不二出版となっている。理事会で意見がまとまった段階で著作権ポリシーについて年報に掲載したい。さらに第46回大会の震災対応の特別シンポジウムの内容を掲載していきたいが、書評については、事務局に送られた著作・論文の連絡を受けて作業に入ることになる。事務局に届いた2本を掲載していきたい。書評の執筆者については、編集委員会に一任願、編集委員会から調整の上、執筆者に依頼したい。

長谷川理事

特別報告・書評はぜひ掲載すべきであろう。書評は学会の性格に合わせて選ぶべきであり、会員の新聞報告など書評としては、別に掲載を考えるのも一案だと思う。また、書評で取り上げるものは、仏教社会福祉学との関わりが強いものが適当であると思われるので学会で掲載の原則を確認するべきではないか。

議長

他の学会では書評を応答方式という形式もある。

佐賀枝編集担当理事

編集委員会で検討したい。

議長

著作権ポリシーについて編集発行と販売を別にしているが、他学会ではどのような取り組みを行っているか、編集委員会で調べて報告されたい。また、理事が関与する学会での情報もお寄せいただきたい、事務局から佐賀枝理事へ報告させたい。

審議の後、第44号の企画案及び編集委員会による書評の掲載方法の検討、著作権ポリシーについて情報収集を行うので了承された。

⑤『仏教社会福祉 入門編』について

宮城先生理事より清水教恵会員が欠席のために代行して報告があった。法蔵館より編集作業の進捗状況の報告と担当者の変更の報告があり、現在リライト原稿の返送が遅れているため作業も遅れている。分量の見直しなど編集者と執筆者との間の連絡方法を再検討し、各章の担当者が集まって改善すべき点を検討しているとの報告があった。

佐賀枝理事

テキストとしてふさわしい原稿にリライトを依頼している調整に手間取り原稿が上がらずに遅れている。

議長

学会として出版するテキストであるため、ふさわしい原稿でなければ、各章の編集担当

者が代わりに執筆することも考えられるのではない。年度内の出版を目指されたい。

⑥日本学術会議科学者委員会

議長より日本学術が意義に参加している団体は、ほとんどが任意団体であるが、公益法人法が改正され、法人格を取るようとの行政指導のような文書が届いている。それに伴う関係研究機関からアンケート調査の回答依頼もあるため、理事会で検討したい。

長谷川理事

任意団体のままだと不利益になるのか。情報を集めたほうがいいが、この規模の学会であれば公益法人格の取得は必要がないような気がする。

議長

不利益については文書には明記されていない。公益団体になる場合は、本年11月が期限に区切られているが、一般社団法人であればいつでも申請できる。

審議の後、次回理事会で再検討していくこととなった。

議長より、すべての議事が終了したので、平成25年度第1回理事会を終了する。

(以上 文責 事務局)



日本仏教社会福祉学会 第48回大会・総会のご案内

2013年度の日本仏教社会福祉学会第48回大会は、8月31日(土)～9月1日(日)に大正大学(豊島区西巣鴨)にて開催されます。

1. 大会テーマ 「災害支援と仏教社会福祉の課題」

2. 開催趣旨 東日本大震災の被災から本学会では、災害研究委員会を立ち上げ、調査研究活動を展開してきた。発災から3年を過ぎても、多様な社会福祉課題を未だ克服できていない状況下にある。先の阪神淡路大震災の支援動向とは異なり、仏教教団や僧侶集団等の支援活動に対する社会的な関心が集まっている。そこで本学会においては、仏教社会福祉実践の意義や評価等について検証しておくべき

研究課題があり、今後の展望も見据えて検討を加えておく必要がある。よって、前年の京都大会に引き続き、災害支援を大会テーマにして本学会員が一堂に会して再考する機会としたい。

3. 会 場 大正大学巣鴨校舎 (3号館326教室及び7号館7階)

4. 日 程 平成25年8月31日(土)～9月1日(日)

5. 内 容

第1日目

① 物故者法要

② 基調講演 「災害支援と仏教社会福祉の課題 - 大正大学による南三陸震災支援の展開から -」
多田孝文氏 (大正大学名誉教授、一般社団法人 南三陸研修センター代表理事)

③ シンポジウム 「災害支援と仏教社会福祉の課題 - 東日本大震災支援の検証から -」
シンポジスト
東田樹治氏 (全日本仏教会)
自覚大道氏 (仏教NGOネットワーク)
藤森雄介氏 (本学会団体理事/淑徳大学)
コーディネーター 清水海隆氏 (本学会個人理事/立正大学)

④ 総 会

⑤ 懇親会 5号館8階鴨台食堂

第2日目

自由研究発表 (9時30分～12時)

※発表申し込みは本学会会員に限ります。

【問い合わせ先】

日本仏教社会福祉学

第48回大会事務局

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1

大正大学 社会福祉学科 事務室内

TEL: 03-3918-7311 (代)

FAX: 03-5394-3057

E-Mail: ohdai-sw@tais-shafuku.sakura.ne.jp

2013年度

日本社会福祉系学会連合総会の開催

2013年5月26日(日) 17:15～18:00、東洋大学白山キャンパスにおいて、「2013年度日本社会福祉系学会連合総会」が行われました。

「総会」においては、新役員の紹介及び事業報告、事業計画、決算報告が話し合われました。特に、東日本大震災に対する調査研究については、3年目の最終報告であるため、今ま

での調査研究をふまえ、総括的なシンポジウムを行う予定であることが報告されました。

平成25年度 理事選出選挙の実施について

理事選出選挙を実施することになりました。第1回理事会の報告の通り、選挙管理委員の確定、実施スケジュールが示されております。実施の詳細は、今回のニュースレターに同封されております、「理事選出選挙関係書類について」

をご確認いただきたいと思います。

「理事選出規程」に基づいて実施していきます。

理事選出選挙選出の流れ

- ・平成25年度4月20日(土) 理事・役員会 選挙管理委員会設置
- ・6月上旬 ニュースレターとともに、選挙関係書類一式を発送
- ・7月上旬 投票締切・開票
- ・7月下旬 結果を理事会に報告(郵送)
- ・8月30日(金) 第48回大会にて新旧理事会の顔合わせ及び総会にて承認

会員の皆さまへお知らせ

1. 住所変更に関するお願い

新年度になり、ご所属・ご住所などの変更があった方は、事務局までご連絡下さい。事務局からの発送物がメール便のため、住所の変更がありますと、届かない場合もあります。お手数ですが住所変更などの手続きは遺漏なくお願いいたします。

2. 学会費納入のお願い

平成25年度分の学会費納入の振込用紙を同封させていただいております。過去3年以上未納の場合、退会扱いになる場合もございます。詳しくは、同封の「会費納入のお願い」をご覧ください。ご不明な点がございましたら、事務局までご連絡ください。

事務局 編集後記

第48回大会は大正大学で開催されます。そのため、通常の学会事務局の業務に加え、大会事務局としても業務を遂行しております。また、6月には理事選挙も控え、準備を進めております。大会等が滞りなく開催できるよう、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。最後になりましたが、赤坂、梶原から菊池、関根へと事務局員が代ることとなりました。学会の事務を務めることは初めてです。至らない点も多く、会員の皆様にはご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、何卒よろしくようお願い申し上げます。(事務局)